

伝笑鳩例会<幸 裕 (=交友) 録>(頓珍漢な会話)

1. 『阪神タイガース 38 年ぶりの日本一おめでとう!!』

- (幸) 「あれ」「あれ」言うてる間に「あれよ」「あれよ」とリーグ優勝・日本一になってもうたな。1985(S60)年いうたらわしはまだ関連会社で働いとった頃やで。大阪生まれの大阪育ちやさかいずっと阪神ファンやったけど、じっと我慢の時間が長かったで。
- (裕) ワテもお父ちゃんから阪神ファン引き継いでんけど、弱い時期が長かったさかい、優勝なんてずっと<半信>半疑やったで。
- (幸) 1985 年当時は吉田義男監督(90 歳)の時代で、開幕直後の 4 月、甲子園の巨人戦で榎原投手からクリーンアップトリオのバース・掛布・岡田がバックスクリーン 3 連発を放ったのは今も語り草やで。
- (裕) その岡田彰布<あきのぶ>選手はその年選手会長で夏場失速したチームを良くまとめて立て直し、優勝へ突き進んだそうや。
- (幸) 今年のチームは<反臣>はおらんし、いい意味での逞しい<蛮人>を率いる岡田監督はクリーンアップで二塁手やった割には派手さはなく手堅かったなあ。「(目指すのは)守りの野球。打つことはあまり期待していない」とか「投手は四球を与えない、打者はボール球を振らないなど、当たり前のことを当たり前にやったらええ結果が出るだけやんか」等々の岡田語録。
- (裕) 岡田はん、来年もくあき>られへん<のぶ→び>やかなチームで連覇してや。

2. 『大橋純子さん逝く!』

- (幸) 北海道夕張市出身。11 月 9 日 73 歳で逝く。まさにお前と同世代、お前が結婚した 1982 年に「シルエット・ロマンス」で日本レコード大賞最優秀歌唱賞を受賞しはった。
- (裕) そやな。追悼の気持ちで「シンプル・ラブ」や「ラスト・ナンバー」の入った、<レインボー>ちゅう LP 聴いたで。ご主人は大橋純子さんのバックバンド<美乃家セントラルステーション>で純子さんナンバーの作曲・編曲を担当した佐藤健さん。純子さん自身、作詞もやってはる。ワテ、若い頃純子さんのライブに行っただ。小柄やけどパワーと歌唱力のある歌手さんで<小柄でパワー全開>という意味ではスーパーライの越智志帆さんに通じるところがあるなあ。
- (幸) 1949 年生まれの歌手・松崎しげるさんが「先に逝くなよ、順番が違うだろう。」と嘆いてはった。
- (裕) <大>きな<橋>の下を素敵な歌を奏でながら船が<巡航>していく感じかな。純子さん、素晴らしい歌をぎょうさん、おおきに!!

以 上

(大鳥羽 裕太郎)